

国道180号周辺の文化遺産を再発見!

国道180号を岡山市北区の板倉交差点から北へ進むと、そこから総社市、高梁市、新見市へ向かいます。この国道180号周辺が、江戸時代には、松山往来、新見往来と呼ばれていた道です。さあ、国道180号周辺にある文化遺産をめぐってみましょう!

ちょっと足を延ばしてみよう
 石造薬師三尊像 (新見市) 約29km
 石造延命地藏 (新見市) 約34km
 備中松山城跡 (高梁市) 約22km
 吹屋 (高梁市) 約27km
 宝福寺 (総社市) 約11km
 高松城跡 (岡山市北区) 約3km
 板倉交差点 (岡山市北区)

新見市内には他にも優れた石造物が多くあります。石造薬師三尊像は新見市街地から約27キロメートル北西の新見市神郷高瀬にあり、地元では高瀬の薬師さんとして大切にされています。

備中松山城跡は、竹田城跡(兵庫県・国指定史跡)、越前大野城跡(福井県)とともに、雲海に浮かぶ天空の山城として、有名です。

板倉交差点から約2キロメートル進むと、右手にJR備中高松駅が見えてきます。この辺りには、羽柴秀吉による備中高松城水攻めの舞台、JR桃太郎線をはさんで約1キロメートル北には備中高松城跡(県指定史跡)があります。

板倉交差点は、国道180号の吉備津神社前の信号から約1キロメートル西にある交差点で、地元では「真金十字路」がなじみのある呼び方もありません。このあたりは、かつて山陽道の板倉宿があった場所で、山陽道と松山往来の分岐点でもありました。

吉備津神社は備前国と備中国の境界にあたる「吉備の中山」の西側ふもとにあります。近くから見ると、少し遠くから見る姿も素晴らしいので、ぜひ見て欲しいです。

岡山県総社市には、津島遺跡があり、「津島やよい広場」として整備されています。

大滝山も、室町時代の三重塔と自然が調和した風景を楽しむおすすめの場所です。

長船は、かつて質・量ともに日本一の刀剣産地として栄えました。

牛窓港は江戸時代には朝鮮通信使が立ち寄った港として有名です。港を見下ろすように立つ本蓮寺は、江戸時代には朝鮮通信使の接待にも使われました。漢詩にも詠まれた情景を思い描いてみてはいかがでしょうか。

吉井川を渡ると、県道28号の少し北にある山に餘慶寺があります。多くの文化財があるほか、眺めも良く、周辺の自然も豊かで、ぜひ訪れてほしい場所の一つです。

国道429号周辺の文化遺産を再発見!

国道429号から県道66号、そして国道313号へつながる道周辺は、備中国と伯耆国(現在の鳥取県)を結ぶ道で、かつては大山道と呼ばれました。この道沿いにも興味深い文化遺産がいっぱいです。

ちょっと足を延ばしてみよう
 旧遷喬尋常小学校校舎 (真庭市) 約30km
 臈帯寺石幢 (高梁市) 約15km
 総社石灯笼 (加賀郡吉備中央町) 約24km
 吉川八幡宮 (加賀郡吉備中央町) 約4km
 足守 (岡山市北区) 約4km
 八幡神社鳥居 (岡山市北区) 約11km
 門前交差点 (岡山市北区)

岡山総社インターチェンジ付近まで進むと、右手の山の上に、復元された西門や石垣が見えてきます。これが鬼城山(国指定史跡)です。鬼城山を眺めながら総社市街地を抜け、JR伯備線沿いを北へ進むと宝福寺があります。

高梁市には、大和(奈良県)からやってきた石工に由来する石造物がいくつもあるんだ。

加茂大祭で知られる総社宮の本殿両脇には優れた石造物があります。境内に立ち並ぶ巨木からもその歴史を感じさせてくれます。

国道429号を北上して、まず訪れたいのが、足守地区です。陣屋町の風情だけでなく、大名庭園の近水園も見所です。

大山道周辺では、吉川八幡宮もぜひ訪れてほしいところ。

旧大山道

板倉交差点道標

八幡神社鳥居

国道53号・国道181号周辺の文化遺産を再発見!

岡山市と津山市を結んでいる国道53号付近を、江戸時代には津山往来と呼ばれた道が通っていました。そして、津山市を経由して県北を東西に走る国道181号付近には、出雲往来と呼ばれていた道がありました。津山市につながる道路周辺にはどんな文化遺産があるのでしょうか。

勝山 (真庭市) 約32km
岩屋城跡 (津山市) 約16km
津山城跡 (津山市) 約27km
誕生寺 (久米郡久米南町) 約15km
金川 (岡山市北区) 約11km
横井上の台場跡 (岡山市北区) 約11km
岡山城跡 (岡山市北区)

津山と言えばなんと言っても、津山城跡。ここは、岡山県を代表する桜の名所です。

誕生寺は、法然上人誕生地として知られています。岡山県には法然上人ゆかりの地が他にもたくさんあります。

本山寺(久米郡美咲町)や菩提寺(備前郡奈義町)も法然上人ゆかりの地なんだ。

金川は、難波抱節や瀧善三郎という幕末の歴史をかざった人物ゆかりの地です。

かつての津山往来は、半田山の東側から横井上へ抜けていました。現在は住宅地の中にある横井上の台場跡は、そのそばを津山往来が通っていたことを教えてくれます。

国道2号・国道486号周辺の文化遺産を再発見!

岡山県南西部には、かつて吉備(現在の岡山県と広島県東部)とよばれた地域の中心であったと考えられている岡山市から総社市にかけての地域が含まれていて、数多くの文化遺産があります。県南西部を通過している国道486号や国道2号の周辺にある文化遺産をめぐって、古代吉備の繁栄を体感しましょう。

矢掛 (小田郡矢掛町) 約10km
箭田大塚古墳 (倉敷市) 約12km
作山古墳 (総社市) 約3km
こうもり塚古墳 備中国分寺跡 (総社市) 約4km
造山古墳 (岡山市北区) 約4km
板倉交差点 (岡山市北区) 約17km
楯築遺跡 (倉敷市) 約10km
岡山城跡 (岡山市北区) 約27km
遍照院 (倉敷市) 約17km
庭瀬城跡 (岡山市北区) 約10km
倉敷川畔 (倉敷市) 約15km
真鍋島 (笠岡市) 約16km
本蓮寺 (瀬戸内市) 約16km

吉備線のシンボルとも言える備中国分寺五重塔を中心とした風景は、季節ごとに違った表情を見せてくれるよ。

岡山県南西部を通過していた江戸時代の山陽道(中国路、西国街道)は、県内では井原市と岡山市をむすんでいて、現在の道路では、井原市と倉敷市を結ぶ国道486号、総社市と岡山市を結ぶ県道270号がこれに当たります。

板倉交差点から県道270号を西へ進むといわゆる「吉備路」と呼んでいる地区に入ります。この周辺には、造山古墳やこうもり塚古墳など、岡山県を代表する古墳が多く点在します。備中国分寺跡や備中国分寺跡もあり、ここへ来れば古代吉備の繁栄を体感すること間違いなしです。

造山古墳は日本で4番目、作山古墳は10番目の大きさの古墳なんだって! こうもり塚古墳と箭田大塚古墳は岡山の三大巨石墳に数えられている。

現在の岡山市北区庭瀬付近に、備前国と備中国の境界がありました。住宅街の一角、備中国側にあるのが庭瀬城跡です。

足守川を越えたあたりで南に見える丘陵にあるのが楯築遺跡です。弥生時代のお墓としては日本最大級のもので、ぜひ見て欲しいです。

岡山県南東部を通過していた江戸時代の山陽道は、現在の国道250号や国道180号の周辺を通過していました。岡山市から瀬戸内海の海上交通で栄えた牛窓(瀬戸内市)へ向かう県道岡山牛窓線(県道28号)沿いにも多くの文化遺産があります。山陽道周辺の文化遺産にも足を運んでみましょう!

岡山県総社市には、津島遺跡があり、「津島やよい広場」として整備されています。

大滝山も、室町時代の三重塔と自然が調和した風景を楽しむおすすめの場所です。

長船は、かつて質・量ともに日本一の刀剣産地として栄えました。

牛窓港は江戸時代には朝鮮通信使が立ち寄った港として有名です。港を見下ろすように立つ本蓮寺は、江戸時代には朝鮮通信使の接待にも使われました。漢詩にも詠まれた情景を思い描いてみてはいかがでしょうか。

吉井川を渡ると、県道28号の少し北にある山に餘慶寺があります。多くの文化財があるほか、眺めも良く、周辺の自然も豊かで、ぜひ訪れてほしい場所の一つです。

国道250号周辺の文化遺産を再発見!

岡山県南東部を通過していた江戸時代の山陽道は、現在の国道250号や国道180号の周辺を通過していました。岡山市から瀬戸内海の海上交通で栄えた牛窓(瀬戸内市)へ向かう県道岡山牛窓線(県道28号)沿いにも多くの文化遺産があります。山陽道周辺の文化遺産にも足を運んでみましょう!

吉備津神社 (岡山市北区) 約11km
津島遺跡 (岡山市北区) 約11km
岡山城跡 (岡山市北区) 約5km
京橋 (岡山市北区) 約15km
大光院の康永四年法華題目石 (岡山市中区) 約16km
餘慶寺 (瀬戸内市) 約16km
本蓮寺 (瀬戸内市) 約16km

備前津神社は備前国と備中国の境界にあたる「吉備の中山」の西側ふもとにあります。近くから見ると、少し遠くから見る姿も素晴らしいので、ぜひ見て欲しいです。

岡山県南東部を通過していた江戸時代の山陽道は、現在の国道250号や国道180号の周辺を通過していました。岡山市から瀬戸内海の海上交通で栄えた牛窓(瀬戸内市)へ向かう県道岡山牛窓線(県道28号)沿いにも多くの文化遺産があります。山陽道周辺の文化遺産にも足を運んでみましょう!

岡山県総社市には、津島遺跡があり、「津島やよい広場」として整備されています。

大滝山も、室町時代の三重塔と自然が調和した風景を楽しむおすすめの場所です。

長船は、かつて質・量ともに日本一の刀剣産地として栄えました。

牛窓港は江戸時代には朝鮮通信使が立ち寄った港として有名です。港を見下ろすように立つ本蓮寺は、江戸時代には朝鮮通信使の接待にも使われました。漢詩にも詠まれた情景を思い描いてみてはいかがでしょうか。

吉井川を渡ると、県道28号の少し北にある山に餘慶寺があります。多くの文化財があるほか、眺めも良く、周辺の自然も豊かで、ぜひ訪れてほしい場所の一つです。